T&D保険グループ

平成２４年５月１５日

各　位

株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス
（コード番号 8795　東証・大証第一部）
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社

平成２４年３月期決算のお知らせ

Ｔ＆Ｄ保険グループ（Ｔ＆Ｄホールディングス、太陽生命、大同生命、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命）の平成２４年３月期（平成２３年４月１日～平成２４年３月３１日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社３社合算：個人保険・個人年金保険）

○**新契約高**は、６兆３，４９６億円、前年から微増、
○**解約失効高**は、４兆２，６１６億円、前年から５．２％の減少、
○**保有契約高**は、５８兆４，１４６億円、前年度末から０．６％の増加となりました。

損益関係（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○**経常収益**は、２兆１，０４１億円、前年から５．６％の増加、
　うち**保険料等収入**は、１兆６，９１２億円、前年から１４．７％の増加となりました。
○**経常利益**は、１，２０８億円、前年から２７．３％の増加となりました。
○**当期純利益**は、２６７億円、前年から１２．１％の増加となりました。

株主配当

○**１株当たり年間配当金**は、２２．５円を予定しています。

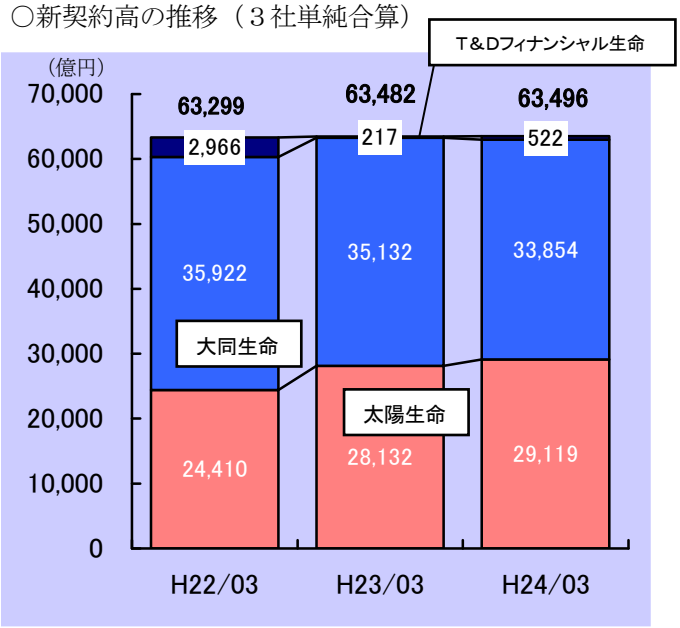
以　上

【お問合せ先】

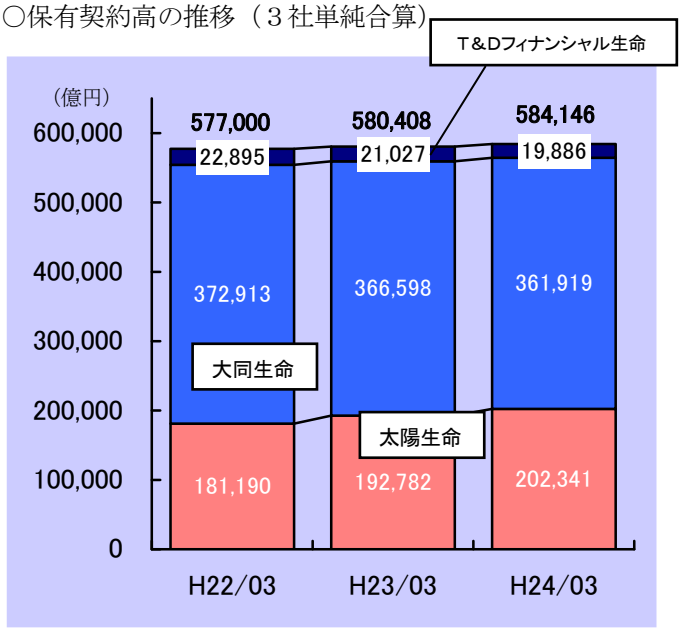
株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス　広報部　今井・松尾　TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社　広報課　家徳　TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社　広報課　西岡　TEL 03-3434-9190
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社　広報課　進藤　TEL 03-3434-8840

［契約業績（個人保険・個人年金保険）］

○新契約高の推移（３社単純合算）



○保有契約高の推移（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約高	63,496	13 増 (0.0%増)	29,119	987 増 (3.5%増)	33,854	1,278 減 (3.6%減)	522	304 増 (140.4%増)
解約失効高	42,616	2,352 減 (5.2%減)	12,221	893 増 (7.9%増)	29,470	3,168 減 (9.7%減)	923	78 減 (7.8%減)
（解約失効率）			(6.34%)	(0.09ポイント上昇)	(8.04%)	(0.71ポイント低下)	(4.39%)	(0.01ポイント上昇)
新契約年換算保険料	1,306	274 増 (26.5%増)	636	238 増 (60.0%増)	633	11 増 (1.9%増)	37	23 増 (170.8%増)
うち医療保障・生前給付保障等	133	25 増 (23.0%増)	64	5 減 (8.0%減)	68	30 増 (80.7%増)	0	0 増 (－)

（注）新契約高には転換による純増加高を含んでおります。

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
保有契約高	584,146	3,738 増 (0.6%増)	202,341	9,559 増 (5.0%増)	361,919	4,679 減 (1.3%減)	19,886	1,141 減 (5.4%減)
保有契約年換算保険料	14,020	47 増 (0.3%増)	6,069	115 増 (1.9%増)	6,235	20 減 (0.3%減)	1,715	47 減 (2.7%減)
うち医療保障・生前給付保障等	1,605	20 減 (1.3%減)	1,044	38 減 (3.5%減)	519	21 増 (4.3%増)	41	4 減 (8.9%減)

■　３社単純合算

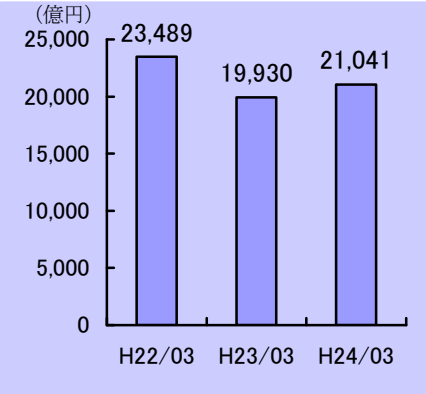
- **新契約高**は、６兆３，４９６億円､前年から微増。
- **解約失効高**は、４兆２，６１６億円、前年から５．２％の減少。
  これは主に、大同生命の解約が減少したため。
- **保有契約高**は、５８兆４，１４６億円、前年度末から０．６％の増加。
  これは、太陽生命の保有契約高が増加したため。

■　各社の状況

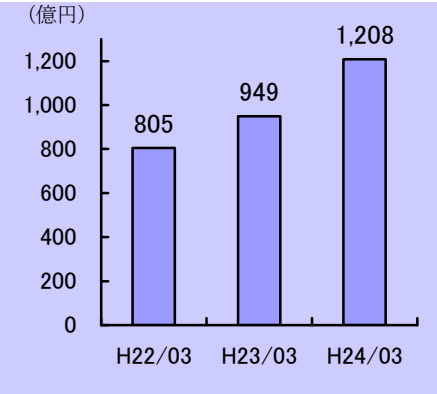
- **太陽生命の新契約高**は、２兆９，１１９億円、前年から３．５％の増加。
  また、保有契約高は、２０兆２，３４１億円、前年度末から５．０％の増加。
- **大同生命の新契約高**は、３兆３，８５４億円、前年から３．６％の減少。
  なお、主力商品の一つである「Ｊタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額２，８１３億円を加算した金額でみた場合、３兆６，６６７億円、前年から１．７％の増加。また、保有契約高は、３６兆５，５７３億円、前年度末から０．５％の減少。
  ※「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- **Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の新契約高**は、５２２億円、前年から１４０．４％の増加。
  これは主に、昨年８月発売の「生涯プレミアム・ジャパン（定額終身保険）」の販売による。

［損益関係］

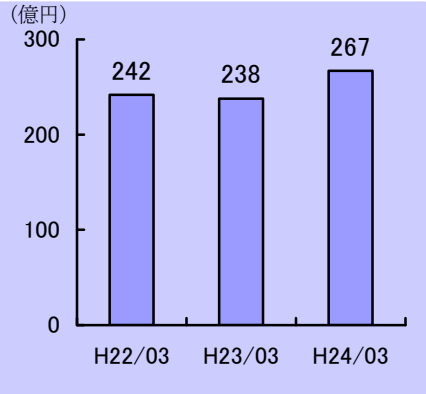
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○当期純利益（連結）



（単位：億円）

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当連結会計年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
経常収益	21,041	1,110 増 (5.6%増)	11,217	2,019 増 (22.0%増)	9,345	280 減 (2.9%減)	1,196	132 増 (12.5%増)
うち保険料等収入	16,912	2,169 増 (14.7%増)	9,034	1,854 増 (25.8%増)	7,202	30 増 (0.4%増)	666	280 増 (72.7%増)
うち資産運用収益	3,250	209 増 (6.9%増)	1,931	146 増 (8.2%増)	1,178	110 減 (8.6%減)	201	105 増 (110.7%増)
うちその他経常収益	878	1,268 減 (59.1%減)	251	18 増 (8.0%増)	965	200 減 (17.2%減)	328	253 減 (43.6%減)
経常費用	19,832	851 増 (4.5%増)	10,610	1,911 増 (22.0%増)	8,737	401 減 (4.4%減)	1,220	86 増 (7.6%増)
うち保険金等支払金	15,248	125 増 (0.8%増)	7,144	292 増 (4.3%増)	7,034	357 減 (4.8%減)	1,065	189 増 (21.6%増)
うち資産運用費用	1,105	37 増 (3.5%増)	601	117 増 (24.3%増)	498	39 減 (7.3%減)	51	104 減 (66.9%減)
経常利益（△損失）	1,208	259 増 (27.3%増)	606	108 増 (21.8%増)	608	120 増 (24.7%増)	△23	46 増 (66.2%減)
特別損益	△184	44 増 (19.3%減)	△148	6 減 (4.4%増)	△24	40 増 (61.7%減)	△7	11 増 (60.6%減)
契約者配当準備金繰入額（△戻入）	304	7 増 (2.4%増)	162	7 増 (5.0%増)	141	0 減 (0.5%減)	△0	0 増 (54.0%減)
税引前当期純利益（△損失）	720	296 増 (69.9%増)	296	94 増 (47.1%増)	441	161 増 (57.5%増)	△31	57 増 (65.0%減)
法人税等合計	450	266 増 (145.4%増)	184	109 増 (145.2%増)	252	132 増 (110.1%増)	5	31 増 (—)
当期純利益（△損失）	267	28 増 (12.1%増)	111	14 減 (11.7%減)	189	29 増 (18.1%増)	△36	26 増 (42.1%減)

（参考）

資産運用関係収支（一般勘定）	2,020	120 減 (5.6%減)	1,330	28 増 (2.2%増)	676	88 減 (11.6%減)	28	63 減 (69.1%減)
法人税率引き下げに伴う当期純利益への影響額	△236	—	△101	—	△115	—	△18	—

（注）１．T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社３社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
２．保険料等収入の３社単純合算は１兆6,903億円（前年比14.7%増）です。

■　Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**経常収益**は、２兆１，０４１億円、前年から１，１１０億円の増加。
　これは主に、太陽生命の保険料等収入の増加による。
・**経常利益**は、１，２０８億円、前年から２５９億円の増加。
　これは主に、３社の基礎利益が増加したことによる。（基礎利益は次ページ参照）
・**当期純利益**は、２６７億円、前年から２８億円の増加。
　なお、法人税率引下げに伴う当期純利益への影響は△２３６億円。

■　太陽生命の状況

・**経常収益**は、１兆１，２１７億円、前年から２２．０％の増加。
・**保険料等収入**は、９，０３４億円、前年から２５．８％の増加。
・**経常利益**は、６０６億円、前年から２１．８％の増加。
　これは主に、基礎利益の増加による。
・**当期純利益**は、１１１億円、前年から１１．７％の減少。
　なお、法人税率引下げに伴う影響は△１０１億円。

■　大同生命の状況

・**経常収益**は、９，３４５億円、前年から２．９％の減少。
・**保険料等収入**は、７，２０２億円、前年から０．４％の増加。
・**経常利益**は、６０８億円、前年から２４．７％の増加。
　これは主に、基礎利益の増加による。
・**当期純利益**は、１８９億円、前年から１８．１％の増加。
　なお、法人税率引下げに伴う影響は△１１５億円。

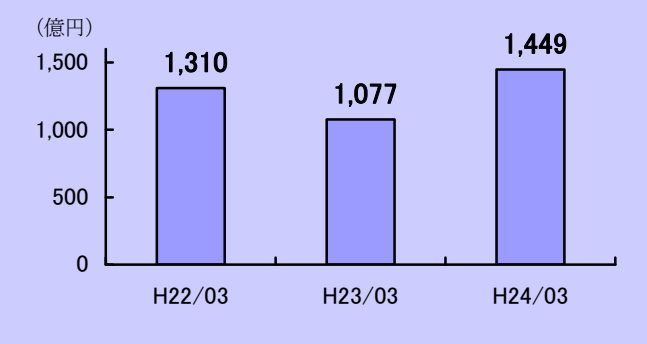
■　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の状況

・**経常収益**は、１，１９６億円、前年から１２．５％の増加。
・**保険料等収入**は、６６６億円、前年から７２．７％の増加。
　これは主に、定額終身保険の新契約高の増加による。
・**経常利益**は、△２３億円、前年から４６億円の改善。
　これは主に、基礎利益の改善による。
・**当期純利益**は、△３６億円、前年から２６億円の改善。
　なお、法人税率引下げに伴う影響は△１８億円。

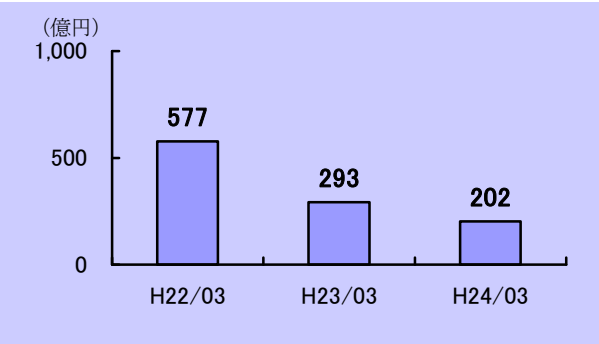
［その他の指標等］

＜基礎利益と逆ざや＞

○基礎利益（３社単純合算）



○逆ざや額（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
基礎利益	1,449	371 増 (34.5%増)	575	71 増 (14.2%増)	824	202 増 (32.6%増)	48	96 増 (―)
逆ざや額	202	90 減	65	4 減	110	81 減	27	4 減

■　３社単純合算

・**基礎利益**は、１，４４９億円、前年から３７１億円の増加。

■　各社の状況

・**太陽生命の基礎利益**は、５７５億円、前年から７１億円の増加。
これは主に、東日本大震災に係る影響（前年度の支払備金繰入費用の計上および当年度の支払備金戻入れに伴う見積差益の発生）および逆ざや額の改善による。
逆ざや額は、６５億円、前年から４億円の改善。
これは主に、予定利息が前年より減少したことによる。

・**大同生命の基礎利益**は、８２４億円、前年から２０２億円の増加。
これは主に、東日本大震災に係る影響（前年度の支払備金繰入費用の計上および当年度の支払備金戻入れに伴う見積差益の発生）および逆ざや額の改善による。
逆ざや額は、１１０億円、前年から８１億円の改善。
これは主に、基礎利益中の運用収支の増加および予定利息が減少したことによる。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の基礎利益**は、４８億円、前年から９６億円の改善。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金が前年の繰入から戻入に転じたことによる。
逆ざや額は、２７億円、前年から４億円の改善。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

（単位：％、ポイント）

	Ｔ＆Ｄホールディングス		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	―	―	747.3	(76.5 上昇)	851.9	(131.3 上昇)	553.7	(17.4 低下)
連結ソルベンシー・マージン比率	810.6	―	759.0	―	858.3	―	―	―

（注）１．2012 年 3 月期から適用となった新基準に基づく。
２．前年度末比は、同基準に基づく増減ポイント（参考値）
３．Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・連結ソルベンシー・マージン比率は、８１０．６％。

■　各社の状況

・太陽生命のソルベンシー・マージン比率は、７４７．３％、前年度末から７６．５ポイント上昇。
これは主に、価格変動準備金の積み増しとその他有価証券の評価差額の増加等ソルベンシー・マージン総額の増加による。

・大同生命のソルベンシー・マージン比率は、８５１．９％、前年度末から１３１．３ポイント上昇。
これは主に、株式等の売却に伴う資産運用リスクの減少に加え、その他有価証券の評価差額の増加等ソルベンシー・マージン総額の増加による。

・Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率は、５５３．７％、前年度末から１７．４ポイント低下。
これは主に、相場変動に伴うソルベンシー・マージン総額の減少による。

＜実質純資産＞

（単位：億円）

	Ｔ＆Ｄﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ（連結）		太陽生命（単体）		大同生命（単体）		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命(単体)	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
実質純資産	13,777	－	5,776	1,240 増	6,697	662 増	960	54 増

■　Ｔ＆Ｄホールディングス連結

連結実質純資産は１兆３，７７７億円。

■　各社の状況

・太陽生命の実質純資産は、５，７７６億円、前年度末から１，２４０億円の増加。
これは主に、価格変動準備金の積み増しと有価証券の差損益の増加による。

・大同生命の実質純資産は、６，６９７億円、前年度末から６６２億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加による。

・Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の実質純資産は、９６０億円、前年度末から５４億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加による。

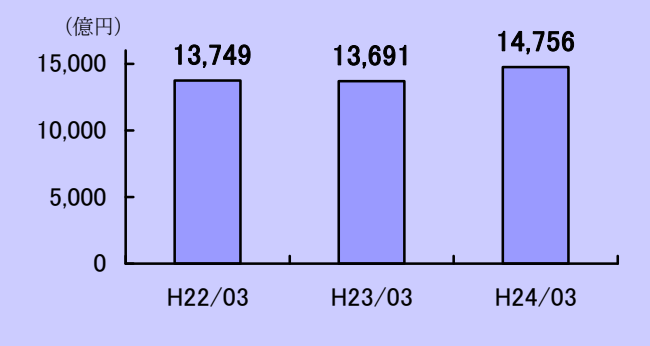
＜有価証券の差損益（一般勘定）＞

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
有価証券の差損益（一般勘定）	3,864	1,716 増	2,496	1,138 増	1,256	517 増	111	60 増
うち公社債	2,305	1,202 増	1,363	754 増	830	387 増	111	61 増
うち株式	981	238 減	649	228 減	331	9 減	－	－
うち外国証券	458	643 増	412	589 増	45	53 増	－	－
うちその他の証券	△13	60 増	5	2 増	△19	60 増	－	1 減
うち金銭の信託	△2	0 減	－	－	△2	0 減	－	－
うち買入金銭債権	136	49 増	64	21 増	71	27 増	－	－
土地等の差損益	163	29 減	△7	23 減	171	5 減	－	－

（注）１．有価証券の差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
２．土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

＜ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー（ＥＥＶ）＞



（単位：億円）

	T&D保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
ＥＥＶ	14,756	1,065 増	5,500	594 増	8,569	518 増	686	47 減
修正純資産	10,366	1,751 増	4,801	1,058 増	4,904	629 増	661	63 増
既契約の将来価値	4,389	686 減	699	463 減	3,664	111 減	25	111 減

	T&D保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約価値	623	76 増	220	28 減	407	96 増	△4	9 増

■　**Ｔ＆Ｄ保険グループ**

・**ＥＥＶ**は、１兆４，７５６億円と、前年度末から１，０６５億円の増加。

■　各社の状況

・**太陽生命のＥＥＶ**は、５，５００億円、前年度末から５９４億円の増加。
・**大同生命のＥＥＶ**は、８，５６９億円、前年度末から５１８億円の増加。
・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のＥＥＶ**は、６８６億円、前年度末から４７億円の減少。

［平成２５年３月期通期業績予想］

○Ｔ＆Ｄホールディングス連結

平成 25 年 3 月期の通期業績予想は次のとおりです。

（単位：億円）

	平成２４年３月期実績	平成２５年３月期予想	増減
経常収益	21,041	21,100	58 増 (0.3%増)
経常利益	1,208	1,140	68 減 (5.7%減)
当期純利益	267	360	92 増 (34.5%増)

１株当たり年間配当金予想は２２．５円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社３社（単体）の平成２５年３月期の通期業績予想は次のとおりです。

（単位：億円）

	太陽生命	大同生命	Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命
経常収益	11,000 (217 減) (1.9%減)	8,400 (945 減) (10.1%減)	1,900 (703 増) (58.8%増)
経常利益（△損失）	600 (6 減) (1.2%減)	530 (78 減) (12.9%減)	0 (23 増) (－)
当期純利益（△損失）	180 (68 増) (62.1%増)	190 (0 増) (0.2%増)	△10 (26 増) (72.7%減)

（注）括弧内は平成２４年３月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以　上

（参考）生命保険会社３社の平成２５年３月期通期見通し

（単位：億円）

	３社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,280 (169 減) (11.7%減)	550 (25 減) (4.5%減)	650 (174 減) (21.2%減)	80 (31 増) (64.4%増)
保険料等収入	17,800 (896 増) (5.3%増)	9,000 (34 減) (0.4%減)	7,200 (2 減) (0.0%減)	1,600 (933 増) (139.9%増)
逆ざや額	130 (72 減) (35.9%減)	60 (5 減) (8.1%減)	50 (60 減) (54.6%減)	20 (7 減) (26.7%減)
新契約高	66,800 (3,303 増) (5.2%増)	31,300 (2,180 増) (7.5%増)	34,000 (145 増) (0.4%増)	1,500 (977 増) (187.3%増)
保有契約高	588,600 (4,453 増) (0.8%増)	212,000 (9,658 増) (4.8%増)	357,600 (4,319 減) (1.2%減)	19,000 (886 減) (4.5%減)
解約失効率（%）		6.3 (－)	8.1 (0.1 ポイント上昇)	3.8 (0.6 ポイント低下)

（注）１.括弧内は平成２４年３月期からの増減額・率です。
２.新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。
３.大同生命に関して、「無配当重大疾病保障保険（Ｊタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した契約高の金額は、次の見通しです。（「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。）
新契約高　　：３兆 7,400 億円
保有契約高　：36 兆 4,500 億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

（参考）契約者配当

○太陽生命

①個人保険・個人年金保険
・毎年お支払いする通常の配当金　　・・・前年度配当率を据え置きます。
・消滅時などにお支払いする特別配当金
消滅時配当（責任準備金比例）　・・・前年度配当率を据え置きます。
消滅時配当（保険料比例）　　・・・前年度配当率を据え置きます。
疾病健康配当　　・・・前年度より引き上げます。
10 年以上経過して消滅かつ給付金支払のない疾病保障特約等について入院給付金日額 1,000 円につき 2,200 円
（前年度：入院給付金日額 1,000 円につき 2,000 円）

②団体保険　　前年度配当率を据え置きます。

③団体年金保険　前年度配当率を据え置きます。

○大同生命

①個人保険・個人年金保険　　前年度配当率を据え置きます。

②団体保険　　前年度配当率を据え置きます。

③団体年金保険　　利差配当を０とします。

○Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命

・前年度に引き続き割り当てはありません。

以　上